


# 第46期 年次報告書

2022年6月1日～2023年5月31日 / 証券コード:6044

もっと快適、ずっと安心。



### CEO Message

## 停滞していたものがいよいよ活性化し 中期経営計画実現への力強い第一歩が 踏み出せたと感じられる1年になりました

代表取締役社長 北越 達男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社はメンテナンス業界において24時間365日稼働のコールセンターを核にしたトータルメンテナンスサービスと、経験豊富なスタッフの技術力と提案力を強みに社会の環境改善に努めてまいりました。

多様な業種で省エネ化など持続可能な社会の実現につながる事業形態への対応が求められる時代ですが、メンテナンス業界も例外ではありません。当社もそのニーズに応えることに早い段階から取り組み、事業改善や新たなサービスの提案などを推し進め、少しずつ結果にも結びついてきております。

第46期の売上高は、147億円33百万円(前期比27.2%増)と、ほぼ目標値に近い結果を残すことができました。前期までコロナ禍の影響でストップしていた事業が、情勢の変化によって社会活動の制限が緩和されたことで、準備をしていた提案などを進めることができたことが要因として挙げられます。また、営業利益は5億円75百万円(前期比160.0%増)、経常利益は5億円79百万円(前期比157.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億円52百万円(前期比193.7%増)となりました。

この結果を前向きに受け止め、既存事業のさらなる発展、さらには新規事業への積極的な挑戦や将来を見据えた人財の育成に取り組み、常に時代にニーズに合った質の良いサービスを提供することで今後の安定的成長につなげていく所存です。



## これまでの事業の堅調さを抛りどころとし M&Aなど積極的な事業展開にもチャレンジ

第46期における持続的・定期的サービスを行うメンテナンス事業やトータルメンテナンス事業の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響によってストップしていた主要な得意先である病院関係への提案が本格再開できたこともあり、堅調な推移となっております。加えて、昨期より本格化した冷凍冷蔵設備のメンテナンスについても、内製化の体制が整い、スーパーマーケットやコンビニエンスストアチェーンへのサービス提供を中心に順調に事業を展開しております。

そして、第46期は当社初の試みとして建具製造を行う株式会社兵庫機工（兵庫県姫路市）と株式交換完全子会社とする形でM&Aを締結いたしました。兵庫機工は省エネ建材に代表される優れた技術を有しており、互いの課題解決、成長のために実りの多いM&Aでした。また、当社初のM&Aを提案から締結まで社員が行ったことは、ノウハウを得たという意味で大きな経験になったと感じております。今後も両者の課題解決、将来のシナジーに期待できそうな案件がありましたら、積極的に検討してまいりたいと考えております。

## 最も成長を感じた省エネ・再エネ事業 さらなる上積みの可能性を感じている

メンテナンス事業やトータルメンテナンス事業に続く「第3

の柱」と位置づけております省エネ・再エネ事業については、新規設備と既存の設備を使用したコスト削減が功を奏し、加えて昨今の世界的なエネルギー危機などを背景にした電気料金の高騰などを理由に、要望や相談が増加傾向にあり、今後も一定のニーズがあることが予想されます。現在は病院や老健施設、スーパーマーケットなど既存の顧客を中心にサービスを提供しておりますが、ニーズの高まりを受け、たとえば病院などと同じ24時間稼働の工場など顧客領域の広がりやサービスの対応力強化に一層、力を入れていく取り組みを進めてまいります。

## 「人財」が会社の強みとなるよう 育成にはますます力を入れていきたい

一方で、こうした事業拡大においては、人財の確保、育成がより重要であると、改めて認識しております。かねてより「人財育成のための人事制度」の改善を推し進めてはきましたが、技術、スキルアップの研修に加え、課題解決やイノベーション創出のための人財育成と交流は、今後、さらに重要度を増すでしょう。私自身、徐々にコロナ禍以前の社会生活に戻つつあるなか、可能な範囲でこれまでストップしていた各地の事業所巡回や社員とのコミュニケーションをとる機会を増やした1年でもありました。コロナ禍によって進んだ事業、業務の遠隔作業化、システム化などの効果を感じる一方、やはり対面で人と人が交流することで生まれるアイデア、チー

ムとしての一体感は会社を成長させるエネルギーであると実感しております。また、同じくコロナ禍では実行を控えざるを得なかったトップ営業の機会も徐々に戻ってまいりました。来期も紙や映像だけでは表現仕切れない「心」や「志」を、より伝えておきたいと考えております。

## コロナ禍に得た経験も糧にして さらにサービスを成長させていく

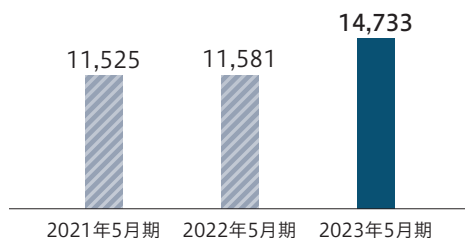
第47期はメンテナンス事業やトータルメンテナンス事業のストック案件も多く、中期経営計画の目標達成の確度は上がっています。また、省エネ・再エネ事業が持つ可能性も大きく、サービスの領域拡大はできると考えております。また、多様な分野で業務のシステム化、AIの活用が進んでいます。当社は優れた人財による実直なサービスによって評価を積み上げ成長してきた企業ですが、その良さは継続しつつ、今後は新たなテクノロジーの導入にも意欲的に挑戦したいと考えております。たとえば「人」のサービスだけでは限界もある各種設備の常態監視には、大いに改善の余地があるでしょう。来期も当社らしさを大切にしつつ、新しいメンテナンス企業像を社会に見せられるよう、社員一丸となって取り組んでいく所存です。

株主の皆様には、今後とも末長いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 業績ハイライト

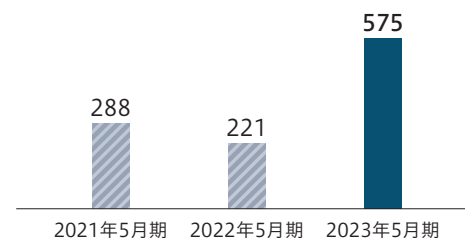
▶ 売上高 (単位:百万円)

147億33百万円 (前期比 27.2%増)



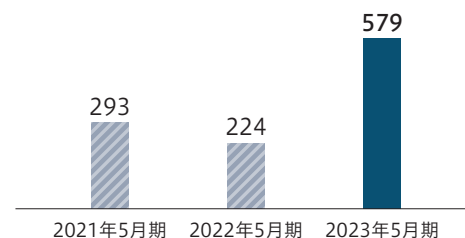
▶ 営業利益 (単位:百万円)

5億75百万円 (前期比 160.0%増)



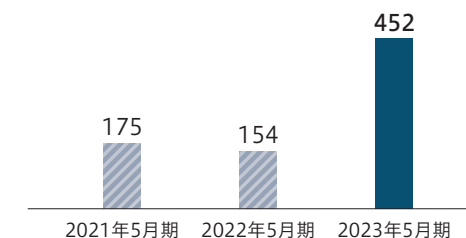
▶ 経常利益 (単位:百万円)

5億79百万円 (前期比 157.9%増)



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

4億52百万円 (前期比 193.7%増)



### 人財の確保、定着、教育に注力し サービス拡充と

### さらなる領域拡大を進めてまいります

#### 数年前より取り組んでいた業務領域の 転換と拡大によりコロナ禍の影響を 最小限に止めることができた

第46期は前期に引き続きコロナ禍の影響が懸念されましたが、結果的には堅調に事業を展開できるなど健全と評価できる結果になったと思います。その要因のひとつには、コロナ禍以前より、当社の中核事業であるトータルメンテナンスサービス事業において領域拡大を進めてきたことが挙げられます。トータルメンテナンスサービス事業は外食業界を対象領域に定めて成長しました。その実績とノウハウを活かし、数年前よりスーパーマーケット業界とコンビニエンスストアチェーン業界に領域の転換と拡大を進めておりました。外食業界が苦境にさらされたコロナ禍において、結果的にそれが影響を最小限にとどめることにつながった次第です。

たとえばコンビニエンスストアチェーンでは、これまで冷凍冷蔵設備業者が空調の工事やメンテナンスを担当するケースが一般的でしたが、当社は冷凍冷蔵設備と空調を分けて管理することを提案。当社のノウハウを活かしたよりきめ細やかな空調の維持管理、故障の事前予防などを行うことでサービス拡大が実現しております。現状、スーパーマーケット業界とコンビニエンス業界は首都圏と近畿圏を中心に事業を展開していますが、今後は北海道から沖縄まで、全国にサービスを拡大したいと考えております。

#### 冷凍冷蔵設備メンテナンスの 内製化も体制が整う来期は 本格的なサービス展開を進める

メンテナンスサービス事業においては、基軸となる空調保守サービスに加え、第45期より冷凍冷蔵設備のメンテナンスも主要サービスにするべく内製化の準備を進めておりました。当初の予定よりやや遅れはありましたが、人員も含めた体制の準備が整い、来期よりいよいよ業務を本格的に展開させていく予定です。既にコンビニエンスストアチェーンにて冷凍冷蔵設備の更新工事および新築工事は始めており、サービス内容には好評をいただきました。今後はスーパーマーケット業界にもサービス拡大していきたいと考えております。そのカギとなりそうなサービスのコストダウンおよびスピードアップの改善にいっそう力を入れていく所存です。今後は女性の活躍する場も増やしていきたいと考えております。顧客の中には女性向け事業に特化した企業もあります。その場合、女性スタッフであれば要望に即時対応しやすい。それもスピードアップの一貫ですし、男性とはまた違った女性ならではのサービスの視点は、事業の成長、アイデア創出、さらには同業他者との差別化にもつながります。

#### きめ細やかで手厚い商品、サービスによる 最も成長した省エネ・再エネ事業

省エネ・再エネ事業は、第46期で最も伸びた事業です。投資と準備に充てたこの数年間は苦しい時期もありましたが、コロナ対策を背景にした行動等の制限緩和により、病院や老健施設への営業が本格再開でき、サービス展開に勢いがつきました。世界情勢の変化で光熱費の削減ニーズが高まったことも要因でしょう。当社の省エネ・再エネ事業は、太陽光発電やLEDライト、各種熱源機器などをセットで提案できるのが特長。顧客の状況に合わせカスタマイズもできます。それに加

え、手厚いアフターフォローもお客様の評価にもつながりました。今期は国立の施設での展開が主でしたが、この実績を足がかりに、来期は私立病院やメンテナンス事業の主要顧客であるスーパーマーケット業界、コンビニエンスチェーン業界にも、省エネ・再エネ事業の提案を進めたいと思います。また、神戸大学との産学連携事業であるAIスマート空調の導入促進も期待の事業です。AIスマート空調はセンサー、IoT、AIなどのデジタルテクノロジーを用いて空調制御する技術で、導入施設においては最大で40%以上の省エネ・低炭素化が実証されています。今後は当社のサービス領域での提案も積極的に進めていきたいと考えております。

いずれも事業においては大切にしなければいけないのはサービスを担う人財。採用と教育には今まで以上に注力していきます。当社の中期経営計画においても人的投資・人財育成は柱のひとつ。達成には必要不可欠な要素。労働生産人口の減少および高齢化、若年世代の安定的かつ継続的な採用維持、シニア世代のスキルアップと適切な活用といった課題を踏まえた人的資本の拡充に努めるため、5つの取り組みを策定しました。人財の確保、定着、さらには教育まで、人が関わる競争と安定は厳しさを増していく時代ですが、当社は掲げた人的資本を達成するため、全社一体となり拡充に邁進してまいります。



## 業績・財務データ

### 連結貸借対照表

(単位: 千円)

科目	前連結会計年度末 2022年5月31日	当連結会計年度末 2023年5月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,054,924	6,952,210
固定資産	1,026,393	1,400,801
有形固定資産	312,476	551,427
無形固定資産	271,281	183,253
投資その他の資産	442,634	666,120
資産合計	5,081,318	8,353,011
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,551,080	3,575,674
固定負債	512,865	943,741
負債合計	2,063,945	4,519,415
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,019,603	3,833,601
その他の包括利益累計額	△2,230	△5
純資産合計	3,017,372	3,833,596
負債純資産合計	5,081,318	8,353,011

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位: 千円)

科目	前連結会計年度 自 2021年6月1日 至 2022年5月31日	当連結会計年度 自 2022年6月1日 至 2023年5月31日
売上高	11,581,813	14,733,528
売上原価	9,127,386	11,349,731
売上総利益	2,454,426	3,383,796
販売費及び一般管理費	2,233,242	2,808,635
営業利益	221,184	575,160
営業外収益	11,174	7,269
営業外費用	7,762	3,141
経常利益	224,596	579,289
税金等調整前当期純利益	247,335	677,166
当期純利益	154,231	452,926
親会社株主に帰属する当期純利益	154,231	452,926

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

科目	前連結会計年度 自 2021年6月1日 至 2022年5月31日	当連結会計年度 自 2022年6月1日 至 2023年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,565	△1,067,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,738	△40,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△225,106	310,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,379	836
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△120,423	△796,683
現金及び現金同等物の期首残高	1,645,307	1,524,884
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	-	270,777
現金及び現金同等物の期末残高	1,524,884	998,978

## 当社の配当政策

### 年1回の期末配当が基本方針

経営成績および財政状況を勘案した上で、  
継続的かつ安定的に利益還元

2023年5月期は1株当たり**23円配当**

内部留保については、企業体質の強化および  
将来の事業展開のための財源として利用

## 1 2023年5月期～2025年5月期 中期経営計画の進捗

### 基本方針

## SANKI NEXT STAGE 2025

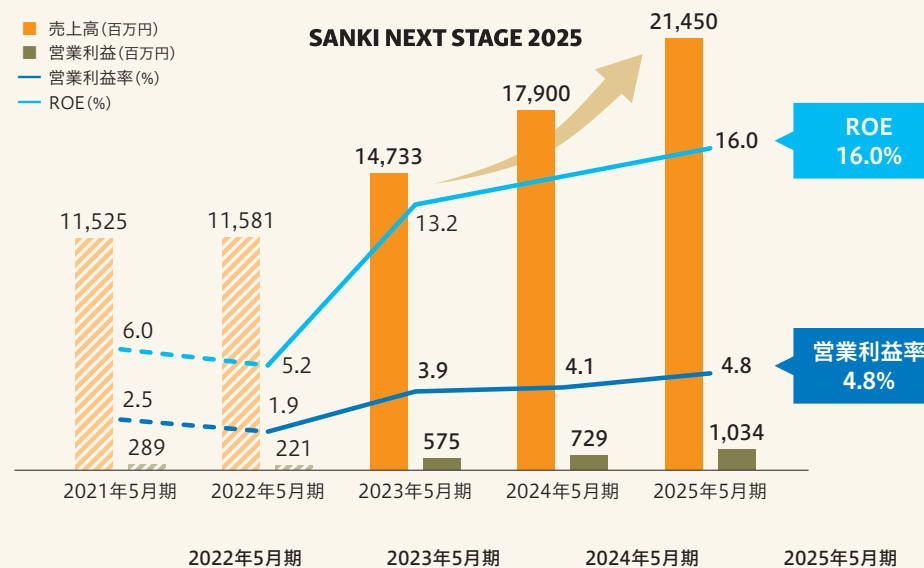
—もっと快適、ずっと安心—



- |          |                        |  |
|----------|------------------------|--|
| <b>0</b> | <b>サステナビリティ(ESG)経営</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業活動を通じたCO<sub>2</sub>削減への貢献</li> <li>② 健康経営の推進</li> <li>③ ダイバーシティの推進今後5年間で、女性管理職比率を6%→12%</li> </ul>                                       |
| <b>1</b> | <b>事業規模の拡大</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 付加価値提供型ビジネスによる既存事業の拡大</li> <li>② 環境事業の拡大</li> </ul>   |
| <b>2</b> | <b>成長投資</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出資等を伴う投資(アライアンス・M&amp;A)</li> <li>② 内部強化のための投資</li> <li>③ DX化推進体制の整備</li> <li>④ スマート化・デジタル化対応</li> </ul>                                    |
| <b>3</b> | <b>付加価値向上</b>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 品質基準設定・標準化の更なる推進</li> <li>② ナレッジ共有・スキルトランスファー</li> <li>③ コールセンターの進化</li> <li>④ 適正単価の設定</li> <li>⑤ パートナー網の拡充</li> <li>⑥ 内製化への取り組み</li> </ul> |
| <b>4</b> | <b>人財育成</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門技術者(空調・冷凍冷蔵設備のスペシャリスト)内製化・育成</li> <li>② 営業体制強化</li> </ul>   |

### 数値目標

#### 売上高・営業利益・営業利益率



<b>売上高</b>	11,581百万円	▶	14,733百万円	▶	17,900百万円	▶	21,450百万円
<b>営業利益</b>	221百万円	▶	575百万円	▶	729百万円	▶	1,034百万円

### 配当方針

継続的かつ安定的な利益配当を行う

## 株主様向けアンケートへの ご協力をお願い

いつもご支援を賜り誠にありがとうございます。

今後のIR活動の充実のため、株主様の貴重なご意見をお伺いしたく、インターネットによるアンケートを実施させていただきます。

恐れ入りますが、下記サイトにアクセスして、ご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートにご回答いただいた方には、抽選で5名様にクオカード1,000円分をプレゼントいたします。

・ご回答期間

2023年8月25日(金)～10月31日(火)



パソコンからのご回答

<https://forms.office.com/r/u3hgeaQn8z>

(ご注意)

1. 半角英数字でご入力ください。
2. ご入力の際は、大文字、小文字にご留意ください。



スマートフォン・携帯・タブレットからのご回答

二次元バーコード読み取り機能のついた端末をお使いの方は、下の二次元バーコードからもアクセス可能です。



## 2 『成長投資』への取り組みと実績

### 当社初のM&A実施

中期経営計画の達成に向けて、株式会社兵庫機工を当社の完全子会社化。今後もあらゆる可能性を模索し、積極的な組織力強化を実施いたします。



### 創業以来、過去最高の売上高を記録

2023年5月期、通期の連結決算において、近年の施策が花開き、売上高は147億3,300万円を計上いたしました。

これは、当社の創業以来、過去最高の売上高となります。

営業利益も計画を大きく上回り、「SANKI NEXT STAGE2025」達成に向けて、順調なスタートを切ることができました。

## 3 『人的資本』拡充への取り組み

### 健康経営への取り組みと実績

代表取締役社長の北越が健康管理最高責任者(CHO)となり、「社員が働き甲斐をもって、心身共に健康で生き活きと仕事に取り組む労働環境」を目標として健康経営を推進。成果として、健康経営優良法人2023(大規模法人部門)の認定を受けました。



### 46期/有価証券報告書への記載

当社が掲げる『人的資本拡充への基本方針』を有価証券にて記載。今後、ますます重要性が高まる人的資本への考え方を明文化し、着実な歩みを行うことで、中期経営計画達成に寄与いたします。



# 会社情報・株式情報

## 会社概要

(2023年5月31日現在)

会社名	株式会社三機サービス
英文名	SANKI SERVICE CORPORATION
設立	1977年7月11日
本社所在地	兵庫県姫路市阿保甲576番地1
資本金	616,652千円
従業員数	単体:470名 連結:531名

### 国内拠点

本社	浜松センター	姫路センター
札幌センター	東海センター	和歌山営業所
東京事業所	大阪センター	福岡営業所
横浜センター	江坂営業所	
静岡センター	神戸センター	

### 国内子会社

株式会社兵庫機工

### 海外子会社

上海三機大樓設備維修有限公司

※当社における「センター」は各地域の営業拠点であります。

## 取締役および監査役

(2023年5月31日現在)

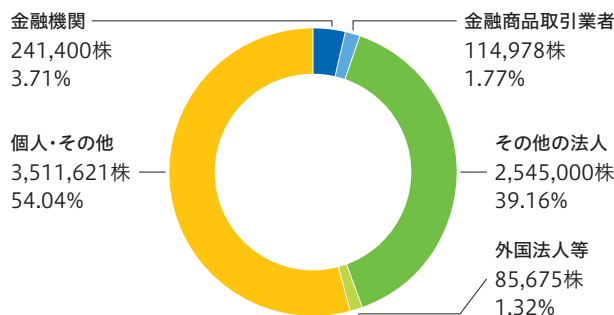
代表取締役会長	中島 義 兼	取締役	小林 彰 裕
代表取締役社長	北 越 達 男	常勤監査役	飼 馬 誠
取締役	越 智 玲緒奈	監査役	北 岡 昭
取締役	川 崎 理	監査役	荻 野 正 和
取締役	笹 尾 佳 子		

※取締役 笹尾佳子および小林彰裕の両氏は、社外取締役であります。  
監査役 北岡昭および荻野正和の両氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

(2023年5月31日現在)

発行可能株式総数	15,000,000株
発行済株式の総数	6,583,485株
株主数	7,599名



## 大株主(上位10名)

(2023年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社中島産業	975,000	15.0
株式会社UH Partners 2	445,300	6.9
光通信株式会社	444,800	6.8
中島 義兼	431,506	6.6
中島 諒子	339,500	5.2
三機サービス従業員持株会	263,123	4.0
株式会社UH Partners 3	255,800	3.9
中島 悠希	228,344	3.5
中島 薫子	225,000	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	194,300	3.0

※持株比率は自己株式(84,811株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会 毎年5月31日 期末配当金 毎年5月31日 中間配当金 毎年11月30日 (中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行う。 やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行う。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(郵便物送付先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(電話照会先)	0120-094-777(フリーダイヤル)
各種事務手続き	詳しくは、こちらのホームページにて ご確認ください。 <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



当社HPIにてMOVIE公開中は是非ご覧ください。

三機サービス

検索

